

Let'HAM アマチュア無線無料講座

「アマチュア無線をはじめたい。でも交信の仕方がわからない」
「昔やっていたけれど、交信のやりかたを忘れてしまった」
「交信の中で、わからない言葉が出て来た」
「知らないことが多いので、怖くてなかなか電波が出せない」
このようなお悩みをお持ちの方のために
アマチュア無線の交信の基本的な流れと
交信の中でよく出てくる言葉などをまとめました。
これさえ読めば、安心してアマチュア無線を楽しめますよ!!

【本紙項目】

- CQを出してみよう!! 基本的な交信の流れ
- (1) フォネティックコードを覚えよう
 - (2) シグナルレポートとは
 - (3) Q符号を覚えよう
 - (4) その他の略符号について
 - (5) カード交換って?
 - (6) コールサインの秘密
 - (7) バンドプランって?

【別紙】

- 別紙① JARL アマチュアバンドプラン
別紙② 最近のアマチュア無線のキーワード

CQ を出してみよう!! 基本的な交信の流れ

まずはアマチュア無線の交信の流れを見てみましょう!! ①空いている周波数を探す ②呼び出し周波数で CQ を出す ③空いている周波数で CQ を出す ④応答する (コールサイン・シグナルレポートの交換) ⑤さらに交信を続ける ⑥交信終了する という順番で進みます。

①空いている周波数 (チャンネル) を探そう!!

最初に空いている周波数 (チャンネルとも言います) を探します (ここでは 145.20MHz)。しばらく受信して、誰もしゃべっていないようなら、さらに自分から電波を出して「誰か使っていませんか?」と呼びかけて、応答がないことを確認しましょう。



チャンネルチェック (周波数チェック)。どなたかこの周波数をお使いですか? 混信妨害等ありませんか? (ここで5秒程度待つ。なにも応答がなければ→) しばらくこのチャンネルをお借りします。

②CQ (一斉呼び出し) を出しましょう!!

呼び出しチャンネル (メインチャンネル、144MHz 帯の場合は 145.00MHz) で、交信相手に呼び掛けます。CQ=一斉呼び出しを3回、自分のコールサインを3回以下言います。



CQ CQ CQ こちらは JA6WBR ジュリエット・アルファ・シックス・ウィスキー・ブラボー・ロミオ (※1) です。どなたかお聞きの局 (ワッチ局、ステーションなどという言い方も) がございましたら交信お願いいたします。このあと、(例) 5.20 (ゴ ポイント フタマル)、145.20MHz にて再度コールします。

(※1)「フォネティックコード」で自分のコールサインを言い替えています。

③チャンネルに戻り、CQ を出しましょう!!

①の空いているチャンネルに戻って、再度 CQ を出します。



CQ CQ CQ こちらは JA6WBR ジュリエット・アルファ・シックス・ウィスキー・ブラボー・ロミオです。どなたかお聞きの局がございましたら交信お願いいたします。受信します。(どうぞ)

すぐに応答がなくても、諦めずに何度か CQ を繰り返してみましょう!!
まったく応答がない場合は、一度呼び出しチャンネルに戻って CQ を出した後、再び③を繰り返します (応答を待つ間のドキドキ感も、アマチュア無線の醍醐味のひとつです)。

すると…… 誰かが応答してくれたようです!! 次のページへ GO!!

④相手と交信しましょう!!

JA6WBR こちらは JA6??E



応答がありました!! でも一部が聞き取れませんでした。
こんなときはあわてずあせらず、もう一度、コールサインを尋ねましょう



JA6 サムシング (なんとか) の方、もう一度コールサインをお願いしますか? どうぞ

ジュリエット・アルファ・シックス・ズルー・マイク・エコー、JA6ZME
です。どうぞ。



了解 (一度 PTT を離して一呼吸待ちましょう。ブレイクタイムとい
います) JA6ZME ですね。こんにちは、応答ありがとうございます。
こちらは JA6WBR です。シグナルレポート 59 (ごーきゅー、または
ファイブナイン) をお送りいたします (※2)。どうぞ。

(※2) "シグナルレポート"は、相手の声がどの程度はつきり聴こえているか、信号の強さはど
れくらいかを数字で表したものです。

了解。JA6WBR さん、こちらは JA6ZME です。こちらも
シグナルレポート 59 です。お返しします。どうぞ。



了解しました。
JA6ZME さん、こちらは JA6WBR です。

お互いコールサイン・シグナルレポートの交換ができました。アマチュア無線では、この2つ
ができると、交信成立となります。この時点で交信を終了してもよいのですが……
せっかくなので、さらに交信を続けてみましょう!!

でもどんなことを話したらいいの……? 次のページでは、アマチュア無線で
よくされている交信について見てみましょう!!

⑤よくある交信について

アマチュア無線では、コールサイン・シグナルレポートの交換のほかに、オペレーターネーム（名前）、QTH（住所、どこから電波を発信しているか）、使っている設備（無線機の型番やアンテナの種類）、電波出力などがよく話題にされます。



オペレーターネームはミヤザキといいます。ミカサのミ、ヤマトのヤ、サクラのサに濁点、キッテのキでミヤザキです（※3）。
QTH（※4）は熊本市東区です。ハンディ機で5W出力で送信しています。それではお返しします。JA6ZMEさん、こちらJA6WBRです。

（※3）自分の名前が正確に伝わるように、「和文通話表」を使って言い替えをしています。

（※4）アマチュア無線では、簡潔かつ正確に相手に交信が伝わるように、略符号がよく使われます。QTH（=住所、現在地の意味）のように、Qから始まるアルファベット3文字の“Q符号”が代表的な略符号です。

了解。JA6WBR ミヤザキさん、こちらはJA6ZME、名前は〇〇です。
住所は△▲です。無線機は……………どうぞ。



アマチュア無線ではこのように、交互に話していきます。コツは、相手の話をよく聞くこと。どんな話題が出たかをよく聴いて、同じ話題で答えたり、相手の質問に答えたりします。はじめのうちは、メモを取ると良いでしょう。

⑥交信を終了しましょう!!



……了解、JA6ZMEさん、こちらはJA6WBR。それではファイナル（交信終了）をお送りいたします。今日はありがとうございました。73（セブンティースリー）（※5）。さようなら。

（※5）交信終了のあいさつの略語で、相手が男性なら73、女性なら88（エイティエイト）と言います（必ずしも必要ではありません）。

了解。宜しければQSLカードの交換をお願いします。こちらからはビューロー（※6）経由でお送りいたします。それでは、また宜しくお願いします。73。さようなら。



（※6）アマチュア無線では交信した相手とQSLカード（交信証）を交換する習慣があります。QSLカードは、相手のコールサインさえ書いてJARL QSL ビューロー（島根県出雲市）に送れば、相手の住所がわからなくても、国内はもちろん海外にまで届いてしまうのです!! 利用にはJARL（アマチュア無線連盟）への加入が必要です。詳しくは後のページで解説します。

これで無事、交信できました!! おめでとうございます!!

慣れないうちはこの基本的な交信の流れに沿って、そのまま交信すればOK!!

コツは「ゆっくり、はっきり、ていねいに」しゃべることです!!

最初は難しくても、何度か交信すれば、自然と口が動くようになりますよ!!

次のページからは、アマチュア無線の交信でよく出てくる用語等を解説していきます。

(1) フォネティックコードを覚えよう

アマチュア無線では、ABCなどのアルファベットや、和文（あいうえお）を相手に間違いの無いように伝えるため、フォネティックコード（通話表）や和文通話表が用いられます。まずは自分のコールサインと名前（名字）はフォネティックコードで言えるように覚えましょう。

■フォネティックコード

文字	使用する語	カタカナ表示	文字	使用する語	カタカナ表示	文字	使用する語	カタカナ表示
A	ALFA	アルファ	J	JULIETT	ジュリエット	S	SIERRA	シエラ
B	BLAVO	ブラボー	K	KILO	キロ	T	TANGO	タンゴ
C	CHARLIE	チャーリー	L	LIMA	リマ	U	UNIFORM	ユニフォーム
D	DELTA	デルタ	M	MIKE	マイク	V	VICTOR	ビクター
E	ECHO	エコー	N	NOVEMBER	ノベンバー	W	WHISKEY	ウイスキー
F	FOXTROT	フォックスロット	O	OSCAR	オスカー	X	X-RAY	エックスレイ
G	GOLF	ゴルフ	P	PAPA	パパ	Y	YANKEE	ヤンキー
H	HOTEL	ホテル	Q	QUEBEC	ケベック	Z	ZULU	ズル
I	INDIA	インディア	R	ROMEO	ロミオ			

■和文通話表

ア	朝日のア	セ	世界のセ	ヒ	飛行機のヒ	リ	リンゴのリ
イ	いろはのイ	ソ	そろばんのソ	フ	富士山のフ	ル	るすいのル
ウ	上野のウ	タ	煙草のタ	ヘ	平和のヘ	レ	レンゲのレ
エ	英語のエ	チ	ちどりのチ	ホ	保険のホ	ロ	ローマのロ
オ	大阪のオ	ツ	つるかめのツ	マ	マッチのマ	ワ	わらびのワ
カ	為替のカ	テ	手紙のテ	ミ	三笠のミ	ヰ	みどのヰ
キ	切手のキ	ト	東京のト	ム	無線のム	エ	かぎのあるエ
ク	クラブのク	ナ	名古屋のナ	メ	明治のメ	ヲ	尾張のヲ
ケ	景色のケ	ニ	日本のニ	モ	もみじのモ	ン	おしまいのン
コ	子供のコ	ヌ	沼津のヌ	ヤ	大和のヤ	ゝ	濁点
サ	桜のサ	ネ	ねずみのネ	ユ	弓矢のユ	。	半濁点
シ	新聞のシ	ノ	野原のノ	ヨ	吉野のヨ		
ス	すずめのス	ハ	はがきのハ	ラ	ラジオのラ		



例えば、JA6WBR ミヤザキさんの場合は…
 「ジュリエット、アルファ、シックス、ウイスキー、ブラボー、ロメオ」
 「三笠のミ、大和のヤ、桜のサに濁点、切手のキ」
 と言います。

(2) シグナルレポートとは

アマチュア無線では、交信中に相手の電波の強さや了解のしやすさなどをお互いに数字で伝え合っています。これを「RS レポート」と言います（シグナルレポートといたり、単にレポートという場合もあります）。「R」はREADABILITY(了解度)で相手の信号がどの程度はつきり聞こえるか、「S」はSIGNAL STRENGTH (信号強度)で信号の強さを表します（電信の場合はさらに「T」TONE＝音調が加わり「RST レポート」になります）。

R は自分の耳で聞いた主観で判断します。S は無線機の S メーターを読み取ります。

■ R (了解度)

1 = 了解できない
2 = 苦労して了解できる
3 = かなり困難だが了解できる
4 = 実用上困難なく了解できる
5 = 完全に了解できる

R が 5、S が 9 なら
「レポート、ごーきゅー送ります」や
「レポート、ファイブナインです」と
言います。



■ S (信号強度)

1 = 微弱で苦労して受信できる信号	6 = 適度な強さの信号
2 = 大変弱い信号	7 = かなり強い信号
3 = 弱い信号	8 = 強い信号
4 = 弱いを受信容易	9 = きわめて強い信号
5 = かなり適度な強さの信号	

(3) Q 符号を覚えよう

アマチュア無線では多くの Q 符号が使われます。一度にすべて覚えるのは大変ですが、よく使われるものは是非覚えておきましょう。QTH (位置、住所)、QRA (局名、名前)、QSO (交信)、QSL (受信証 (を交換できる)、交信成立の意)、QRZ (誰か私を呼びましたか?)、QSY (周波数を変更する)、QSB (フェージング)、QRM (混信) など。

■ Q 符号 (代表的なもの、このほかにもたくさんあります)

QRA? 貴局名は何ですか。	QRV? そちらは用意ができましたか。
QRH? こちらの周波数は変化しますか。	QRZ? 誰かこちらを呼んでいますか。
QRL? そちらは通信中ですか。	QSB? こちらの信号にはフェージングがありますか。
QRM? こちらの伝送は混信を受けていますか。	QSO? そちらは…と直接(又は中継で)通信ができますか。
QRN? そちらは空電に妨げられていますか。	QSP? そちらは、無料で…へ中継してくれませんか。
QRO? こちらは送信機の電力を増加しましょうか。	QSY? こちらは他の周波数に変更して伝送しましょうか。
QRP? こちらは送信機の電力を減少しましょうか。	QTC? そちらには送信する電報が何通ありますか。
QRS? こちらはもっとおそく送信しましょうか。	QTH? 緯度及び経度で示す(又は他の表示による)そちらの位置は何度ですか。

(4) その他の略符号について

Q 符号以外の略符号もよく使われます。たとえば先輩をOMさん（おーえむさん、Old Man の意味だが、年配者でなくても使う）と言ったり、女性にYLさん（わいえるさん、Yang Lady の意味だが、女性全般に使う）と言ったりします。また、無線を終了するときには73（セブンティースリー、元は電信用の略語で Best Regards=敬具、の意味、女性には88エイティーエイトと言う場合もある）と言います。一番有名な略語は「CQ」。これは、「すべての無線局に対する一括呼び出し」を意味する略符号です。英語で「Seek You=あなたを探しています」が由来という説や、「Come Quik=すぐに応答せよ」から来ているなど複数の説があります。

略符号のほか、無線家の間で通じる単語も、一度には覚えきれないほどたくさんあります。わからない単語はその都度尋ねてみるとよいでしょう。



アマチュア無線ならではの、面白い表現もたくさんあります。例えば、「アイボールしましょう」ならば、そのままだと eye ball=目玉のことになりますが、「目と目を合わせましょう→無線ではなく実際に会いましょう」という意味になるのです。

(5) カード交換って？

QSL カード（交信証明書）のことです。交信した日時、周波数、モード、RS(T) レポートなどが記載されたものです。各種アワード（賞）の申請に必要な場合もあります。

相手から「よろしければカードをご交換ください」と言われることがあります。お互いにJARLに入会しているのでしたら、まとめてJARL QSL ビューロー（島根県にあります）に送ると、仕分けたQSLカードを2か月ごとにまとめて会員に届けてくれるサービスがあります。JARL 会員でなければ「すみません、JARL には入っておりませんので今回はノーQSL でお願います」と答えて構いません。

あとでJARLに入ってから送ることもありますので、ログ（通信記録）はできるだけ残しましょう。

近年は、インターネット上で画像データとしてカードを送り合う、eQSL という仕組みや、お互いの交信を証明する手段としてARRLが運営しているLoTWといった仕組みもあります。紙のカードをもらうのも楽しいものですが、時代の移り変わりにあわせてカード交換の姿も変化しています。

JARL（日本アマチュア無線連盟）に入会すると、QSL ビューローが利用できます。QSL ビューローでは、交信相手の住所がわからなくても、コールサインから、「どの国の、どの地域に住んでいる〇〇さん」というのを調べて、QSL カードを届けてくれます!!（相手が自国の連盟に所属しており、連盟間の提携がある場合のみ、直接=ダイレクトでQSL カードを交換することも多いです）。海外局だと、到着まで数か月から数年かかることもあるので、気長に待ってくださいね。



アマチュア無線では、交信記録を「無線業務日誌」につける習慣があります（以前は、業務日誌を備え付けるのは義務でした）。相手のコールサインや交信した周波数、日時、RS レポートなどを記録するもので、ログ帳ともいいます。専用のログ帳も売っていますが、最近ではPCで記録する人も多いようです。

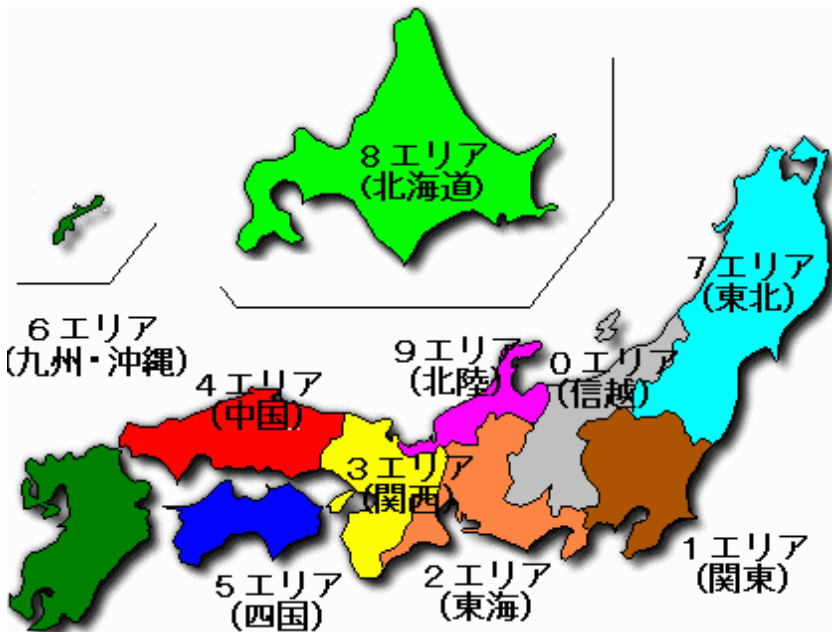
(6) コールサインの秘密 プリフィックス、サフィックス

たとえば JA6WBR の場合、JA6 が「プリフィックス」、WBR が「サフィックス」と呼ばれる部分です。

プリフィックスの部分は、「どの国のどの地域の無線局か」を表しています。日本の無線局であれば、JA～JS、そして関東地方なら 1、東海なら 2、九州なら 6 という番号が振り分けられます。なので、国内の無線局と交信した場合、コールサインの数字を聞けば、どの地域から電波を出しているか分かります。アメリカ合衆国なら AA～AK, K, N, W から始まるコールサイン、オーストラリアなら VK という具合に、コールサインでどの国の無線局かも判別できます。

なお、たくさんの局が一度に呼びかける「パイルアップ」という状態では、相手のコールサインの一部しか聞こえない場合もあります。「サフィックス WB などとかの方プリフィックスからお願いします」や「サフィックスがわかりませんでしたのでもう一度お願いします」や「プリフィックスは JE6 によろしかったでしょうか？」といった使い方をします。(この場合「いいえ、こちらのプリフィックスはジュリエット・アルファ・シックスです」などと訂正します)

日本国内のエリア番号



エリア番号を覚えておくと、とっさに相手の場所がわかるので便利です。遠くのエリアのコールサインが聞こえてきたら嬉しいですね!!

常置場所以外で運用する時は「こちら JA100 移動中 (ポータブル)」と言ったりもします

なお、例えば JA100 の人が九州に来て無線をする場合は「こちら JA100 ポータブル 6 (またはストローク 6)」と言って、「1 エリアからではなく 6 エリアから電波を出している」ことをはっきりさせます。



(7) バンドプランって？

各バンド（144MHz帯、430MHz帯など）の中で、「ここからここまではFMが使える」「ここからここまではFMは使えない」「この範囲はアマチュア衛星通信専用」などの区分があります。これをバンドプランといいます。たとえば、道路でも自動車道・自転車道・歩道と分かれていますよね。もしこの区分がなくて、自動車も自転車も歩行者もごちゃまぜで走っていたら、人も車もスムーズに走れません。同じように、電波上でもスムーズに交信できるように、電波形式（＝モード、FM、AM、SSBなど）によって区分されているのです（もし、この区分を間違えて電波を出すと、電波法違反になります。車道に人が飛び出してくるようなものですね）。

一般的な144/430MHzのFM無線機（一般的なハンディ機、モバイル機）の場合、どこからどこまでがFMで交信してよいかを下記します。

■144MHz帯

144.720MHz から 145.780MHz まで

※ただし145.000MHzと145.300MHzは呼び出し以外では使わない。

※144.700MHzと145.800MHzはバンドの両端なので、使用を避けた方がよい

■430MHz帯

431.400MHz から 431.900MHz

432.100MHz から 434.000MHz

438.000MHz から 439.000MHz

※ただし、433.000MHzと433.300MHzは呼び出し以外では使わない。バンドの両端はできれば避ける。

詳しいバンドプランは別紙に載っています。

「広帯域の電話」と書いてある範囲が「FM」が使える周波数です。

なお「狭帯域の電話」は「SSB」、狭帯域の電信は「CW」のことです。

全電波形式はすべての変調方式が使えますが、主に実験・研究用となっています。



電波は周波数ごとに、「何に使うか」が細かく分類されています。例えば……

「AMラジオ」は530kHzから1605kHz

「FMラジオ」は76MHzから95MHz

「航空無線」は107MHzから137MHz

「特定小電力トランシーバー」は420MHzから430MHz

「地デジ放送」は470MHzから710MHz

「携帯電話」は800MHz帯や2GHz帯など

アマチュア無線では、低い周波数から高い周波数まで

さまざまな周波数帯を使えます!! すごいですね!!

JARL アマチュアバンドプラン

.....日本アマチュア無線連盟

令和2年4月21日施行

【狭帯域：占有周波数帯幅が3kHz以下(A3Eを除く)、
広帯域：占有周波数帯幅3kHzを超える】

135kHz帯 周波数:kHz		475kHz帯 周波数:kHz		1.9MHz帯 周波数:kHz					
135.7	137.8	472	479	1,800	1,830	1,845	1,875	1,907.5	1,912.5
CW, 狭帯域データ(注1)		CW, 狭帯域データ(注1)		CW	CW, 狭帯域データ	狭帯域の全電波型式	CW, 狭帯域データ(注1)		

注1：占有周波数帯幅は200Hz以下のものに限る。

3.5MHz帯 周波数:kHz		3.8MHz帯 周波数:kHz				7MHz帯 周波数:kHz															
3,500	3,520	3,535	3,575	3,580	3,599	3,612	3,662	3,680	3,687	3,702	3,716	3,745	3,770	3,791	3,805	7,000	7,030	7,045	7,100	7,200	
CW, 狭帯域データ		CW, 狭帯域の電話・画像(注1)		狭帯域の全電波型式		狭帯域の全電波型式		CW, 狭帯域の電話・画像		CW, 狭帯域の電話・画像		CW, 狭帯域の電話・画像		CW, 狭帯域の電話・画像		狭帯域データ		CW, 狭帯域の電話・画像(注2)		狭帯域の全電波型式	

注1：3,535kHzから3,575kHzまでの周波数は、外国のアマチュア局とのデータ通信に使用することができる。
注2：7,045kHzから7,100kHzまでの周波数は、外国のアマチュア局とのデータ通信に使用することができる。

10MHz帯 周波数:kHz		14MHz帯 周波数:kHz				18MHz帯 周波数:kHz							
10,100	10,130	10,150	14,000	14,070	14,112	14,350	18,068	18,100	18,110	18,168			
CW		狭帯域データ		CW		CW, 狭帯域の電話・画像(注2)		CW(注4)		狭帯域データ		CW, 狭帯域の電話・画像(注4)	

注1：14,100kHzの周波数は、JARLが国際的な標準信号(ビーコン)を送信する場合に限る。
注2：14,112kHzから14,150kHzまでの周波数は、外国のアマチュア局とのデータ通信に使用することができる。
注3：18,110kHzの周波数は、JARLが国際的な標準信号(ビーコン)を送信する場合に限る。
注4：18,090kHzから18,100kHz及び18,110から18,120kHzまでの周波数は、外国のアマチュア局とのデータ通信に使用することができる。

21MHz帯 周波数:kHz					24MHz帯 周波数:kHz						
21,000	21,070	21,125	21,150	21,450	24,890	24,910	24,930	24,990			
CW(注2)		狭帯域データ		CW, 狭帯域の電話・画像		CW		狭帯域データ		CW, 狭帯域の電話・画像(注4)	

注1：21,150kHzの周波数は、JARLが国際的な標準信号(ビーコン)を送信する場合に限る。
注2：21,125kHzから21,150kHzまでの周波数は、外国のアマチュア局とのデータ通信に使用することができる。
注3：24,930kHzの周波数は、JARLが国際的な標準信号(ビーコン)を送信する場合に限る。
注4：24,930kHzから24,940kHzまでの周波数は、外国のアマチュア局とのデータ通信に使用することができる。

28MHz帯 周波数:MHz											
28.00	28.07	28.15	28.20	29.00	29.30	29.51	29.59	29.61	29.70		
CW(注3)		狭帯域データ		CW, 狭帯域の電話・通信・画像		広帯域の電話・通信・画像・データ(注2)		衛星		レピーター	

注1：28,200MHzの周波数は、JARLが国際的な標準信号(ビーコン)を送信する場合に限る。
注2：29,000MHzから29,300MHzまでの周波数は、外国のアマチュア局との占有周波数帯幅が3kHz以下の電話・通信・画像・データ及びCWによる通信に使用することができる。
注3：28,150MHzから28,200MHzまでの周波数までは、外国のアマチュア局とのデータ通信に使用することができる。

50MHz帯 周波数:MHz													
50.00	50.1	50.2	51.00	52.00	52.30	52.50	52.90	54.00					
CW(注1)		狭帯域データ		広帯域の電話・通信・画像(注4)		VoIP		CW, 狭帯域の電話・通信・画像		広帯域データ		全電波型式(実験・研究用)	

注1：50,000MHzから50,100MHzまでの周波数は、外国のアマチュア局との占有周波数帯幅が3kHz以下のデータ通信に使用することができる。
注2：50,000MHzから50,300MHzまでの周波数で月面反射通信(EME)を行う場合に限り占有周波数帯幅が3kHz以下のデータ通信に使用できる。
注3：50,010MHzの周波数は、JARLが国際的な標準信号(ビーコン)を送信する場合に限る。
注4：51MHzから51,5MHzまでの周波数で外国のアマチュア局との通信を行う場合は、占有周波数帯幅3kHz以下の電話・通信・画像・データ及びCWによる通信に使用することができる。

144MHz帯 周波数:MHz



注1: 144.10MHzから144.20MHzまでの周波数は、外国のアマチュア局と月面反射通信に使用できる。この場合の電波の占有周波数帯幅の許容値は3kHz以下のものに限る。
 注2: 144.30MHzから144.50MHzまでの周波数は、国際宇宙ステーションとの交信に際して広帯域の電話、電信および画像通信に使用することができる。

430MHz帯 周波数:MHz



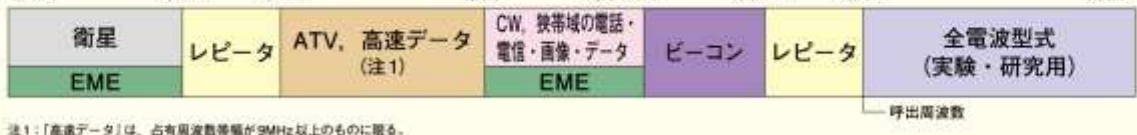
注1: 「高速データ」は、占有周波数帯幅が9MHz以上のものに限る。

1200MHz帯 周波数:MHz



注1: 「高速データ」は、占有周波数帯幅が9MHz以上のものに限る。

2400MHz帯 周波数:MHz



注1: 「高速データ」は、占有周波数帯幅が9MHz以上のものに限る。

5600MHz帯 周波数:MHz



注1: 「高速データ」は、占有周波数帯幅が9MHz以上のものに限る。

10.1GHz帯 周波数:GHz



注1: 「高速データ」は、占有周波数帯幅が9MHz以上のものに限る。

10.4GHz帯 周波数:GHz



注2: この周波数帯幅は、衛星通信及び月面反射通信に使用することができる。

※JARL アマチュアバンドプランは諸外国の運用や世界的な慣習等をふまえて総務省の使用区別告示とは異なる表記をしている場合があります。

最近のアマチュア無線のキーワード

APRS (えーピーあーるえす) ……GPS 機能内蔵の無線機同士で、お互いの位置情報やコールサインなどを自動でやり取りできる無線のシステム (Automatic Packet Reporting System)。FTM-400XD, FT3D などの無線機で使用可

GoogleMapsAPRS (ぐーぐるまっぷすえーピーあーるえす) ……APRS 信号をキャッチして各無線局の位置情報や航跡をグーグルマップ上にマッピングしてくれるサービス。無料で誰でも閲覧可能。

デジタル……モードの一種で、デジタル変調波のこと。デジタルノード局 (中継局) などを通じて 5W 出力でも県外、海外との交信が可能。ヤエスの C4FM (しーふおーえふえむ)、JARL が策定した D-STAR (でいーすたー、アイコム・ケンウッドが採用)、アルインコのデジタル変調の 3 方式がある。

WIRES-X (わいやーずえっくす) ……ヤエスのデジタルモードを使った遠距離通信のシステム。

D-STAR (でいーすたー) ……JARL が策定したデジタルモードを使った遠距離通信システム

FT8 (えふていーえいと) ……デジタル文字通信の一種。微弱な電波でも海外局など遠方と交信できるため最近人気。無線機と PC を接続して送受信する。JTDX (じえーていーでいーえっくす) や WSJT (だぶるえすじえーていー) などの無料ソフトが必要。

JARL (じゃーる) ……日本アマチュア無線連盟。アマチュア無線の発展などに関する活動を行う団体。入会すると QSL カードの転送サービスなどを利用できる。

QSL (きゅーえすえる) カード……交信証明書。交信した相手のコールサインや日時、周波数などを記入して送る。インターネットで電子版 QSL カードを送る eQSL などもある。

スペクトラムスコープ/ウォーターフォール……バンド内のどこで信号が出ているか画面で見られる。最近の HF 機には標準装備されていることが多い。

旧スプリアス機……平成 19 年 (2007 年) 11 月以前に製造された無線機。令和 4 年 (2022 年) 11 月 30 日までしか使えない。JARL (日本アマチュア無線振興協会) などを通じて「スプリアス確認保証」の手続きを経れば、旧スプリアス機を今後も使うことができる。